

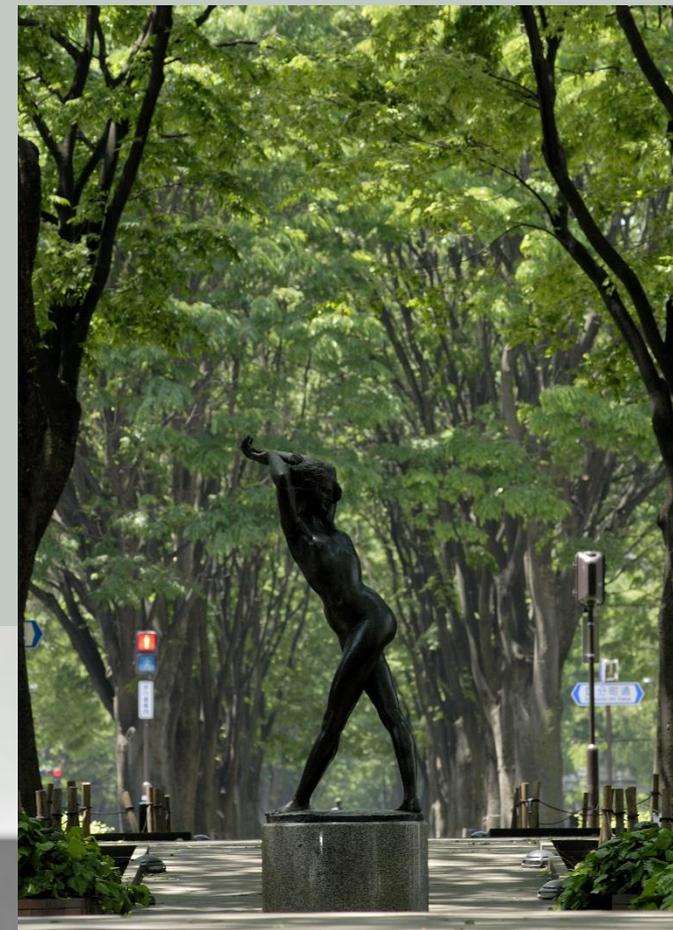
# 定禅寺通を読書しやすい空間に

---

## 定禅寺 コトノハ ボックス

仙台まちづくり若者ラボ2022

2022年12月1日



# 目次

---

- ・メンバー紹介
- ・テーマ設定に至るまでの経緯・背景
- ・第1回フィールドワーク（メディアテーク）
- ・第2回フィールドワーク（定禅寺通活性化室）
- ・第3回のフィールドワーク（個人ごとの読書体験）
- ・まとめと現在検討中のネクスト・アクション

# メンバー紹介



名前：鈴木 夢夏  
所属：宮城大学  
好きな本：  
号泣する準備はできていた(江國香織)



名前：橋本 朔良  
所属：東北学院大学（教養学部）  
好きな本：ねみちゃんとねずみくん（ねずみくんのチョコキシリーズより）



名前：油利 貴昭  
所属：安全教育センター  
好きな本：四畳半神話体系(森見登美彦)



名前：千葉 リュウジ  
所属：パーラー山と田んぼ  
好きな本：文明の生態史観



名前：勝又 大海  
所属：(株)向陽ホールディングス  
好きな本：海の底(有川浩)



メンター  
名前：小野 拓也  
所属：ONETOHOKU HUB  
好きな本：砂漠(伊坂幸太郎)

定禅寺通を**読書**しやすい空間に  
ちょうどいい街を、ちょっといい街に



# 仙台ってどんな街？

情報が多すぎるかも。  
あまり発信が上手でない。

人と人との繋がりが薄い。

就職する際、県外に  
出て行ってしまいう学生が多い。

でもなんだかんだいって、とっても住みやすい街。  
人やお店の多さ、交通、自然、**何もかもがちょうどいい。**

# 「ちょうどいい街」を盛り上げるには？

もっとほかの地域から人を  
呼び込めたらいいのかな？

コミュニティが欲しい。  
人と人との繋がりを濃くしたい。

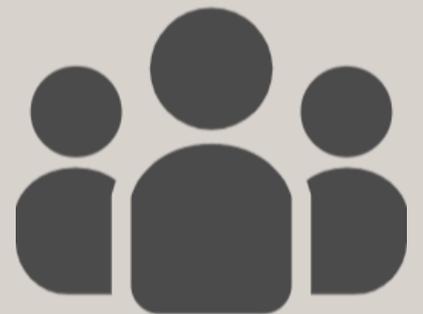
それならまず、**私たちが胸を張って  
好きといえる場所**にしていかなきゃ。

**「自分ごと」**としてのまちづくりなら、**皆がワクワクすること**でないと！  
若者だからこそできる新しいことをしていこう。

# じゃあワクワクすることって？

ワクワクすることって、やっぱり自分の好きなもの。  
**グループメンバーの「好き」が重なり合うところは……？**

**本！**



# どこで読書を推進していくか

仙台市内で読書しやすいエリアってどこだろう。

本が読みやすそうなのは、やっぱり静かで人通りの少ない場所……

**定禅寺通はどうだろう。** 

いいねー！！

賑やかさは仙台駅前が担ってくれている。  
**定禅寺通の人通りの少なさを逆手に取れそう。**

# どんな情報が必要か

①現状、定禅寺通ではどういった空間づくりが行われているのか

②定禅寺通に位置するメディアテークさんとの方向性の違い

③本当に「読書×定禅寺通」に意義があるか

# STAGE.1「フィールドワークinせんだいメディアテーク(SMT)」

9月24日（土）14：00～16：00 於7階倉庫a（勝又、橋本、油利、小野）

服部 暁典 さん

企画・活動支援室 活動支援係 統括

【読書度】×（全く読まない）



## 【インタビュー内容】

### 「定禅寺通×読書」によるまちづくりの可能性

（以前にそうした取組をした経験はあるか／取組上の課題について）

※上記以外にも「SMTと定禅寺通のかかわり」や、先方の話を踏まえて「SMTの役割（特に東日本大震災前後における変化について）」も

橋本 直樹 さん

施設マネジメント係長

【読書度】？（読まない訳ではない）

市民図書館主催で**ビブリオバトル**や**郷土ウォーク**(※)の実施経験あり。但し、あくまで図書館利用者数向上の為であり「既に市民図書館には多くの人 coming いるのに、わざわざ『定禅寺通で』『読書で』まちづくりをする理由や必要性は何処にあるのか？」（服部さん、要旨）とも

# STAGE.1「フィールドワークinせんだいメディアテーク(SMT)」

つまり…

「テーマに対する動機づけがまだ不十分！」

という気づきを得られた

👉「現状に対して『やられるか！』と反骨心を抱くのが若者」(服部さん)

…ジャズフェスも、元は141で催された小規模な演奏会に端を発している  
↳再開発で変わりゆくまちや、廃れつつあった文化に対するアンチテーゼ

短いスパンではその効果が図れないような**長期的な視点に立った活動**  
仙台だからこそ実現が可能といった、**その土地ならではの創造的活動**

に対する期待も

～考察～

**先を見据えつつ、まずは読書に対する何らかのきっかけ作りから？**

→動機付けは確かに大事だが、それに縛られて何も出来なくなるのは本末転倒 (👁️だけに)

ンバーの千葉さん「あとからでもイベントは作れる!!」「今できることをする!!」

⇒最終的に**定禅寺通 (仙台) ならではの読書体験**を提供できれば、それで良い？

×



# STAGE. 2 定禅寺通りでまちづくりをしている方々にお話を聞く

メディアテークに行った上での結論をぶつけてみた



※まちづくり政策局定禅寺通活性化室と  
JSAM代表理事の氏家正裕さん

好きな場所に行き、  
好きなことをするのがまちづくり  
やりたいことを自由にやっいていい  
(法律やルールの範囲で)

まちづくりにお金はいらない。  
まちはみんなのもの。  
結果を求めるのがまちづくりではない。  
市は効果の検証を期待しているわけではない。

～気づき～

私たちはまちづくりについて難しく考えすぎていた。  
→社会的意義や結果を求めることがまちづくりではない。

# STAGE.3

読書や定禅寺通に関する活動を行う方を中心に取材活動を行ってきた。

次の課題として、

- ① 私たちがやりたいことが明確化できていない
- ② **定禅寺通に実際に足を運べていない**
- ③ 読書においてこういったサービスやものが重宝されているのか  
(ユーザー視点を見直す)

# STAGE.3 ～定禅寺通での読書体験～

各々が好きな時間に、  
定禅寺通の気になる場所で  
読書活動を行った。

火星の庭

ガネッシュティールーム

カフェドギャルソン

Little Free Library

# STAGE.3 ～付録～



## 火星の庭

住所；宮城県仙台市青葉区本町1丁目  
営業時間；11：00～19：00  
定期日；火曜、水曜  
ポイント；コーヒーが絶品。本好きの為だけのカフェ

## ガネツシュティールーム 定禅寺通店

住所；宮城県仙台市青葉区  
国分町3丁目3-3  
営業時間；10：00～20：00  
定休日；なし  
ポイント；新茶の紅茶を楽しむおすすめ。小さな店内には穏やかな空間が



## Little Free Library

住所；宮城県仙台市青葉区国分町1丁目2  
ポイント；無料で絵本が読める場所。新しい出会いがあるかも



## カフェ ド ギャルソン

住所；宮城県仙台市青葉区国分町3丁目2-2  
営業時間；11：30～19：00  
定休日；木曜  
ポイント；店内の窓からは定禅寺通の並木を見渡すことができる

## 番外編

## 石巻 まちの本棚

住所；宮城県石巻市中央2丁目3-16  
営業時間；11:00～18:00  
開館日；土曜、日曜、月曜  
ポイント；さまざまな分野の本を手軽に楽しめる



# STAGE.3

実際に定禅寺通で読書活動を行ったことで…

## それぞれが選ぶ場所に特色が見れた。

- ① 女性は、お茶をしながらゆっくり読書を楽しめる場所
- ② なかなか読書をしない人は、本だけでなく、その空間を楽しめる場所
- ③ 新たな本に出会いたい人は、手軽に様々な本に触れられる、肴町公園という読書スポット

メンバーそれぞれ異なるスタイルで読書が楽しめた。  
⇒定禅寺通が読書に“ちょうどいいまち”であることが分かった。

# テーマ再掲

定禅寺通を**読書**しやすい空間に  
ちょうどいい街を、ちょっといい街に



# テーマ再掲

定禅寺  
実現できたら、仙台はもっと面白くなる！



# 理想の未来①

宮城県や仙台市にゆかりのある作家や作品を生かした  
新たなまちづくりの展開

# 理想の未来②

## 仙台読書マップの作成

仙台市中心部にある新刊書店、古書店、図書館、ブックカフェ等の情報が一目で分かるマップの作成

前例はあるが、読書上級者向け&作成から時間が経ってしまっている

読書初心者向けに再作成することで  
**仙台の秘められた読書スポット**が再発見できる 



# 理想の未来③

定禅寺通に来たら、スマホはやめて本を読もう。



街中で読書が楽しめる人は、まちの楽しみ方を知っている人

ジャズフェス、コーヒーフェスに並んで  
ブックイベントの実施も



# ネクスト・アクション



引用 : <http://matipura.com/gout/13287/>



## 定禅寺コトノハボックスの設置

肴町公園に設置されている  
**Little Free Library**(小さな無料図書館)を  
定禅寺通の複数個所に増設

**誰でも手軽に本を手にとれる機会の提供の  
第一歩をここから始めていく**

今後実施されるであろう、定禅寺通での  
大規模社会実験と同時に実施できたら……